SCREEN
MEDIA TECHNOLOGY

Trueflow Suite

RIteInspect

JDF対応次世代デジタル検版システム

Trueflowと一体化した世界初の工程間検版により CTP出力の信頼性が飛躍的に向上

Print Production Format CIP4™ Organization

Trueflownet

デジタルワークフローにおける校正作業のミスを徹底的に排除
信頼度の高い刷版出力を可能にします

近年、CTPの導入台数は目覚しい伸びをみせ、CTPによる高生産性の実現やワークフロー RIPによる高速化は、生産現場にとって重要なファクターになっています。そのために、CTP出力の際にはミスのない出力が必要とされ、デジタルワークフローにおける校正作業の在り方が問われています。

Riteinspect（ライトインスペクト）は、Trueflow 3で処理されたCTP出力直前のデジタルデータに対して、責了データと最終データの差異を確実に判別して通知するシステムです。

従来、目視と手作業で行っていた検版を自動化するため、CTPへの出力がよりスピーディーになり、作業効率がアップ。皆さまのご要望に応えて2サイト運用にも対応しています。さらに、修正のあったページのみを比較検版するページ検版（オプション）も可能。合理的な作業フローと確かな検版作業でミスを排除し、クライアントとのさらなる信頼関係の構築に貢献します。

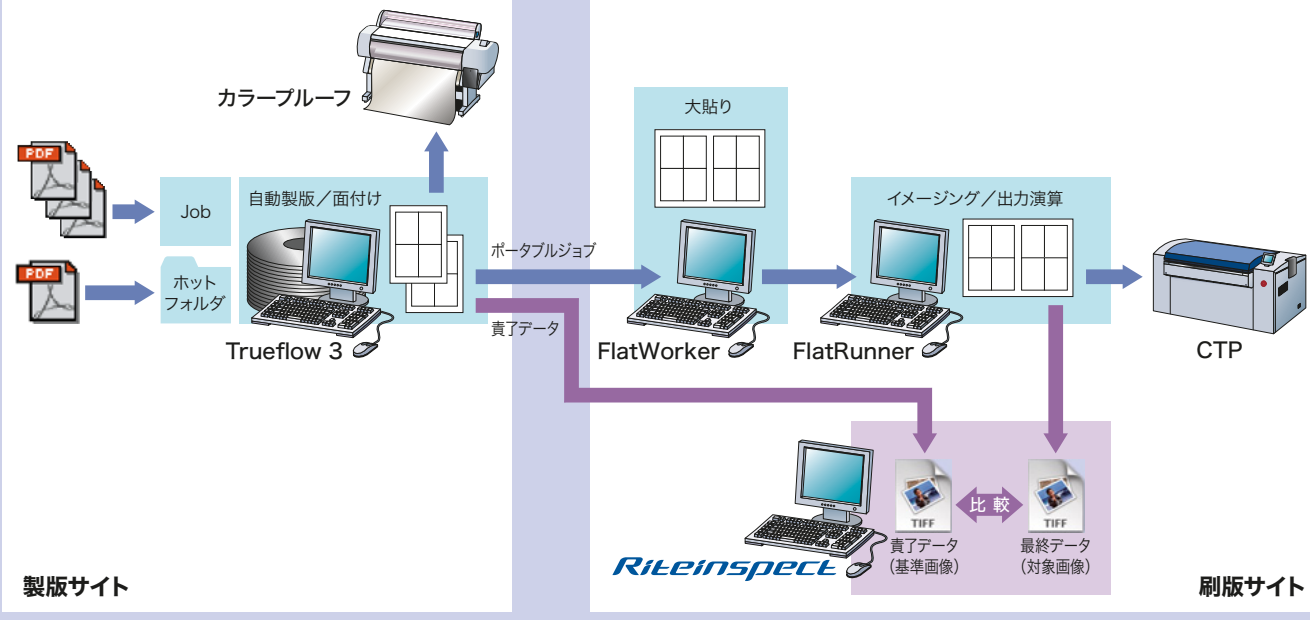
デジタルデータを確実に検版。簡単操作で 2 サイト運用も可能。

デジタル検版で校正精度が向上

Riteinspectは、校正紙やフィルムを使わないデジタル検版システムです。責了データと最終データを比較し、相違や修正ミスを素早く識別して、検版結果を画面に表示。CTP出力直前に検版するため、欠陥データによる刷版出力を未然に防ぎます。

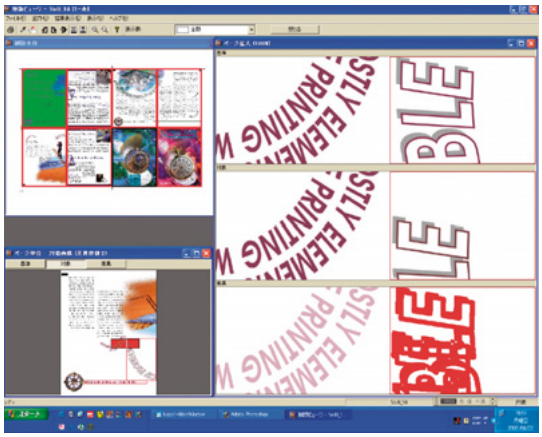
また2サイト運用においても、効率的な検版作業を実現。信頼性の高いデジタル検版であるため、2サイトで起こりがちなオペレータ間のコミュニケーション不足などによるミスを排除。フィルム出力などの手間もいらず、校正紙待ちというようなタイムロスもありません。

2サイト運用時のデジタル検版



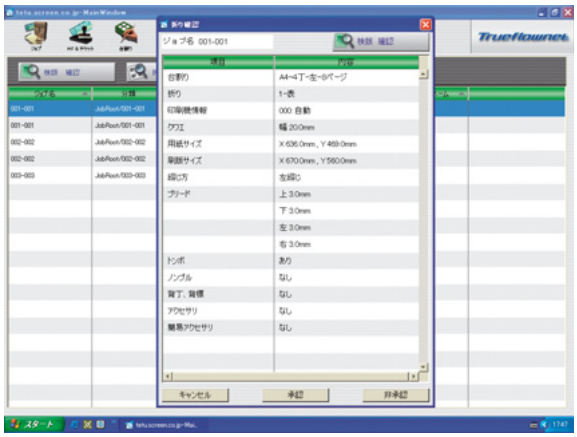
画面上で修正個所を効率的に識別

Riteinspect Viewerにより、変更や訂正のあったページを一目で判別可能。キーボードの矢印キーで修正個所から修正個所へ自動的に瞬時にジャンプできるため、確認作業が効率よく行えるとともに、見逃し防止につながります。また、製版指示の確認ができるため、ノセやトラップの間違いも見逃しません。



検版進捗／折り確認画面表示

画像データに対する検版に加え、くわえ幅、刷版サイズ、印刷機情報と面付け情報などの印刷仕様の確認が可能で、CTPからの刷版出力前に版の最終確認が行えます。また、その後の印刷スケジュールにあった処理が行えるように検版結果、承認待ちリストを一覧表示できます。



自動処理機能を搭載

ずれ補正など高機能を備え、正確な検版を実現。入力フォルダを選択して（複数選択可能）条件をセットすると、検版作業が自動で高速処理されます。これにより、手間の掛かる目視作業から担当者を解放し、一連の作業の自動化を実現します。
さらに画面上での確認だけでなく、検版結果を自動でカラープリンターに出力することも可能です。全体を半調にして、修正個所のみを色分け表示できるため、変更個所が一目で確認できます。

JDFワークフローに対応

Riteinspectは、JDFに対応しており確実な情報の伝達により、生産工程における品質の安定化とミスの防止が図れます。

ページ検版（オプション）

入稿された初校のPDF（またはPS）ファイルから、ページ検版用の基準画像（TIFF）を生成。修正された2校目以降のファイルを入稿して対象画像（TIFF）を生成し、基準画像と対象画像をページ単位で検版します。また、ファイル名ルールに基づいて基準画像と比較する対象画像を検索することで、検版を自動的に実行。修正や変更などのあった対象ページのみの検版ができるため、作業のロスを解消します。

比較から CTP 出力までのデータの流れ

❶ 検版

Trueflow 3からのTIFFデータを受け取り、校了データ（プルーフ出力時に作成したデータ）と最終データ(CTP出力用データ)を比較します。

❷ 承認

検版の結果に問題がなければ、承認作業に入ります。承認には以下の３つのモードがあります。

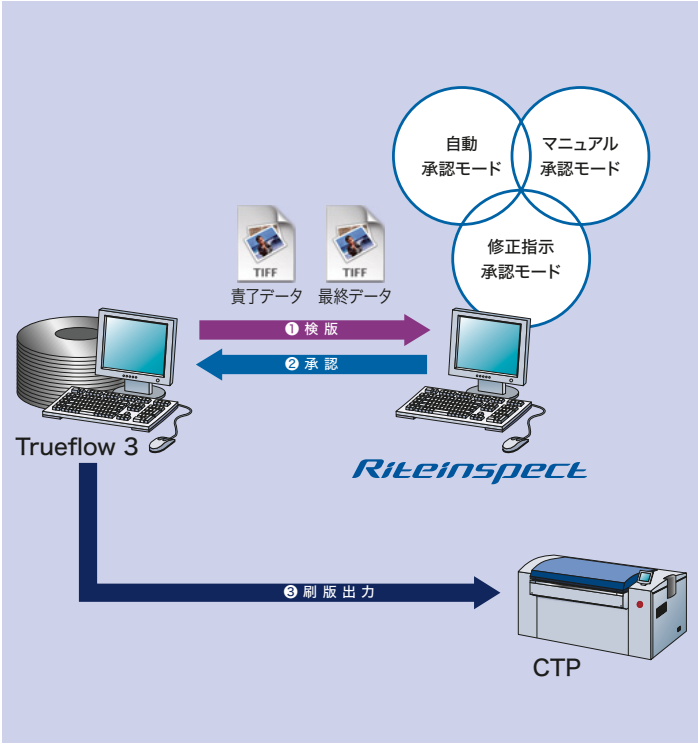
●**自動承認モード**
検版結果に問題がなければ、データは自動的にCTPに転送されます。

●**マニュアル承認モード**
検版結果にかかわらず「承認待ち」状態で一旦停止。オペレータがJobの優先順位や印刷機のスケジュールに合わせて、CTPへの転送をマニュアルコントロールできます。

●**修正指示承認モード**
検版後、変更・訂正個所などを表示し、修正個所や、指示がないのに修正されているようなミスがないかを確認。その後、オペレータのマニュアル操作でCTPに転送。

❸ 出力

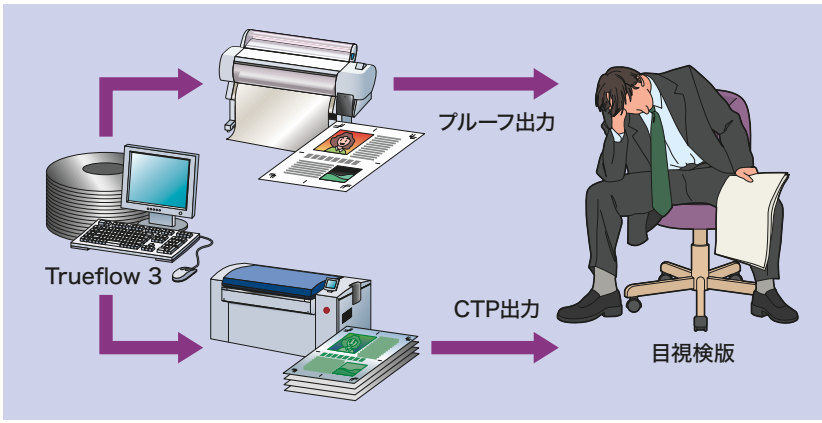
Trueflow 3から最終データを受け取り、CTP出力が開始されます。



Riteinspect導入前と導入後の比較

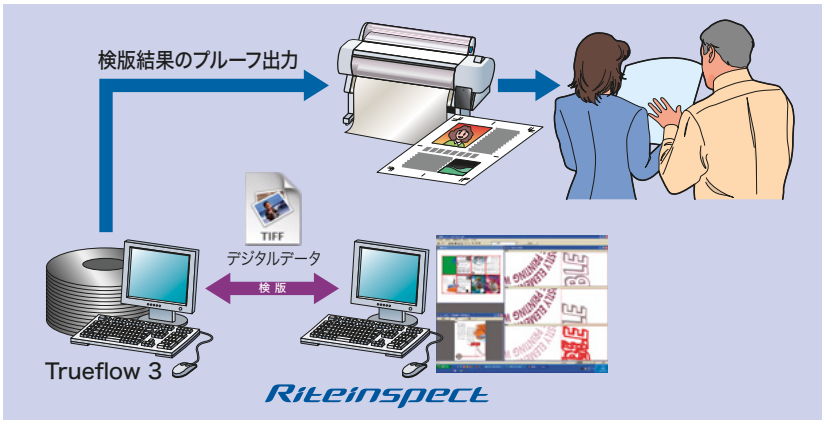
従来のワークフロー（目視検版での問題）

- ●目視による検版作業は、担当者のスキル、体調、気分などによって品質が左右され、品質基準が一定しない。
- ●修正指示書（責了紙）の品質にバラツキがあるため、修正個所を見逃しやすい。
- ●市販の検版ソフトはささいな相違も検出してしまい、本来の検版作業がはかどらない。
- ●目視での検版精度を上げると検版作業に時間を要し、生産性が低下する。
- ●刷版上で不具合を発見した場合、その刷版は無駄になってしまう。
- ●ノセの確認が困難である。
- ●見落としへの不安感から、ついつい過剰な時間や労力を検版作業に掛けてしまいがち。



Riteinspect導入後のワークフロー

- ●Riteinspectにより、一定の品質基準を確保。
- ●刷版面付け済みのデジタル検版なので、変更・修正個所を見逃さない。
- ●わずかな位置ずれや欠けなど、一定の基準より小さい差異は吸収し、効率のよい検版を実現。
- ●プルーフ出力と刷版出力の面付け情報を自動的に判別し、面付け間違いによるミスを防止。
- ●演算と並行して検版を実行することにより、作業効率への影響を極力回避。
- ●刷版出力前に検版結果が分かるため、刷版の無駄を排除。
- ●特色を含む出力版ごとに検版を行うので、ノセ、ヌキの確認が可能。



大日本スクリーンは、印刷業界を取り巻く３つの重要な課題を解決するため、「Trueflow Suite（トゥルーフロースイート）」「Color Suite（カラースイート）」「Rite Suite（ライトスイート）」という３つの技術のコアをベースに製品展開しています。
Riteinspect は、Trueflow Suite の分類に含まれます。

SCREEN MEDIA TECHNOLOGY

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
http://www.mtjn.co.jp/
東京支店／03(3237)3111(代) 大阪支店／06(6268)6600(代) 名古屋支店／052(218)6400(代)
福岡支店／092(436)7081(代) 北海道営業所／011(726)0707(代) 東北営業所／022(224)1741(代)
新潟営業所／025(241)0112(代) 静岡営業所／054(281)0955(代) 長野営業所／026(224)5770(代)
金沢営業所／076(292)2345(代) 京都営業所／075(671)1145(代) 中国営業所／082(264)6451(代)
四国営業所／087(837)8151(代)

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
http://www.screen.co.jp/

※本カタログは、弊社の Fairdot 2 で印刷しています。
※本カタログは、弊社の千都フォントを使用しています。
※本カタログの各商品名は各社の商標・登録商標です。
※本カタログの仕様ならびに商品デザインは改良のため予告なしに変更されることがあります。

R100 本カタログは、100%再生紙を使用しています。

注意 ご使用の前には、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

No.110-105　2006年9月発行　04FSI(R1-2)